

# Agencourt RNAClean XP

## クイックマニュアル



本クイックマニュアルは簡易版です。使用前には、正式なマニュアル(英文)を必ずご一読ください。

## Introduction

ベックマン・コールターのスリッドフェーズ可逆固定化 (SPRI) 磁性ビーズ技術により、RNA/cDNA のハイスループット精製を可能にします。ビーズが RNA/cDNA に結合し、過剰なオリゴヌクレオチド、ヌクレオチド単量体、塩、酵素を簡単な洗浄で除去します。

### 適用アプリケーション

PCR、RT-PCR、マイクロアレイ/マイクロアレイのプローブ、RNase プロテクションアッセイ、RNAi 実験のためのトランスフェクション、cDNA 合成とラベリング

### 保存方法

4°Cで保存してください。

使用前に十分に攪拌し、磁性ビーズを完全に再懸濁して下さい。

### 本マニュアルの対応製品

A63987 RNAClean XP 40 mL

A66514 RNAClean XP 450 mL

## Material Supplied by the User

### 反応プレート

96 ウェル 300  $\mu$ L 丸底プレート

96 ウェル PCR プレート

### 磁気プレート

A32782 Agencourt SPRIPlate 96R Ring Super Magnet Plate

### 試薬

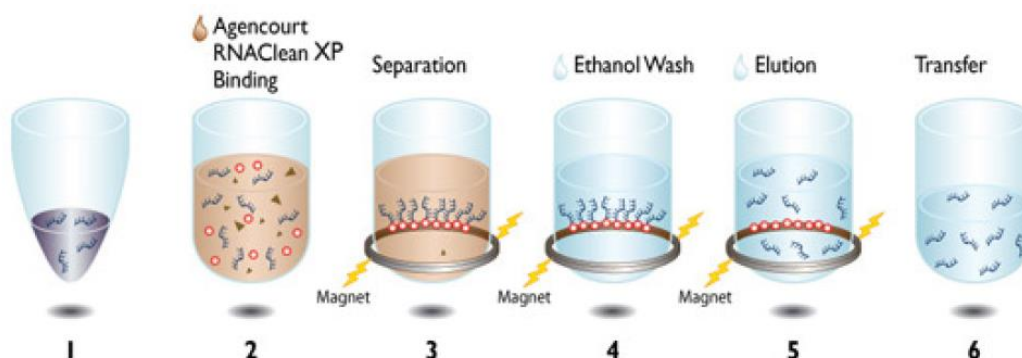
70%エタノール (ヌクレアーゼフリー水で用時調製)

溶出液: RNase フリー水

### RNase フリー条件での実験について

RNAClean XP は RNase フリーにて製造されており、試薬製品にヌクレアーゼの混入がないことを確認しています。本試薬のご使用時は、サンプルへの RNase 混入を防ぐ対策を十分に取った上で、実験を行うことをお勧めします。

**Quick Reference** (96 ウェル反応プレート、サンプル液量 1~100  $\mu\text{L}$  の場合)



1. サンプル 1  $\mu\text{L}$  あたり、RNAClean XP 1.8  $\mu\text{L}$  を加える。
2. ピペッティング 10 回またはボルテックス 30 秒間で混合後に 3~5 分間静置し、DNA 断片を磁性ビーズに結合。
3. 磁気プレート上で 5~10 分間静置し、上清を除去。
4. 磁気プレート上で 70%エタノール 200  $\mu\text{L}$  以上を加え、30 秒静置し、上清を除去。  
この 70%エタノール洗浄を合計 3 回実施後、10 分間風乾。
5. 反応プレートを磁気プレートから下ろし、RNase フリー水 40  $\mu\text{L}$  を入れ、ピペッティング 10 回またはボルテックス 30 秒間で溶出。
6. 磁気プレート上で静置し、精製サンプルを含む上清を新しいプレートに移す。

## Purification Procedure

### 96 ウェル反応プレート、サンプル液量 1~100 $\mu\text{L}$ での実験手順

1. 反応プレートのウェル容量がサンプル液量の 2.8 倍を超えている場合、より大きなウェル容量の反応プレートに移しかえる必要があります。反応液量が 100  $\mu\text{L}$  を超えている場合には、正式なマニュアル（英語）をご参照下さい。
2. RNAClean XP のボトルを攪拌し、磁性ビーズを完全に再懸濁します。サンプル液量の 1.8 倍容の RNAClean XP を加えます。

サンプル液量 ( $\mu\text{L}$ )	RNAClean XP 添加容量 ( $\mu\text{L}$ )
20	36
50	90
100	180

3. RNA/cDNA をビーズへ結合させるため、ピペッティング 10 回またはボルテックス 30 秒間によりサンプルと試薬を混合します。その後、回収率を高めるために室温で 3~5 分間静置します。サンプル液量が 50  $\mu\text{L}$  以上の場合には 5 分間、一本鎖 DNA を精製する場合には 20 分間静置することにより回収率を高めることができます。
4. 反応プレートを磁気プレート上で 5~10 分間静置し、溶液中のビーズを分離します。溶液が透明になっていることを確認してください。
5. 反応プレートを磁気プレート上に置いたままで、上清を除去します。
6. 反応プレートを磁気プレート上に置いたままで 70%エタノール 200  $\mu\text{L}$  を加え、室温で 30 秒間静置します。その後、エタノールを除去します。  
この 70%エタノール洗浄を合計 3 回行います。ウェル底のエタノールは完全に除去します。

7. 反応プレートを 10 分間風乾します。

磁性ビーズの過剰な乾燥は避けてください。溶出収量が非常に低くなる場合があります。サンプルを直ぐに使用しない場合には、この状態で-4℃または-20℃にて冷凍保存することが可能です。

8. 反応プレートを磁気プレートから下ろし RNase フリー水 40  $\mu$ L を入れ、ピペッティング 10 回またはボルテックス 30 秒間によりサンプルを溶出します。

9. 反応プレートを磁気プレート上で静置し、精製サンプルを含む上清を新しいプレートに移します。



03-QMJ-161011

## ベックマン・コールター株式会社

本社：〒135-0063 東京都江東区有明3-5-7 TOC有明ウエストタワー

お客様専用 ☎ 0120-566-730 ☎ 03-6745-4704 ☎ 03-5530-2460  
✉ bckkcas@beckman.com URL <http://www.beckmancoulter.co.jp>

